

令和6年12月5日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：AIを用いた転倒・外傷予測システムの開発

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2012年4月1日から2020年3月31日までに、藤田医科大学病院に入院された方々と、2016年4月から2020年3月に七栗記念病院に入院された方々を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

病院内における患者様の転倒は、骨折等の外傷を伴う危険性があるため防がなければならない医療事故の一つです。本研究では、より効率的かつ正確に転倒・外傷の予防対策を行うために、人工知能（AI）を用いて電子カルテの情報からより広い範囲の情報を基に、新たなシステムの開発を目的としています。私たちは、このシステムが開発されることで、患者様の転倒予防対策に貢献するものと考えます。研究期間は、承認された年月日～2027年3月31日です。

3．研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ内の基本的情報（年齢、性別、診断名、合併症、併存症、身長、体重）、検査・評価記録（骨密度、血液データ、内服薬、点滴等）、診察記録、看護記録、リハビリテーション記録を用います。患者 ID や氏名などの個人情報、適切な手順で加工し、特定の個人を識別できないようなかたちで研究に使用されます。

4．外部への試料・情報の提供

取得したデータは個人が識別されないようなかたちに加工された後に、株式会社 FRONTEO に提供されます。一度提供されたデータは、株式会社 FRONTEO で厳重に管理され、研究終了後には藤田医科大学に全て返還され、株式会社 FRONTEO にはデータが残らない状態にします。

5．研究組織

研究代表者：藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 大高洋平

共同研究機関の責任者：株式会社 FRONTEO 代表取締役社長 守本正宏

6．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

7. 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授 大高洋平

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98 電話 0562-93-2167

8. 利益相反

この研究は、株式会社FRONTEOから提供される資金と、医学部リハビリテーション医学講座の講座研究費等を使用して行われます。本研究は株式会社FRONTEOと共同研究として実施し、株式会社FRONTEOが有するAIシステムを使用し、解析の際には人的支援を受けています。その他に本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。